

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築と環境						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)/選択科目(建築コース)/選択科目(デザインコース)						
担当者	依田 浩敏						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築室内環境に関する基本的知識を理解し、説明できる。</li> <li>・ 建築室内環境の快適性を図るための技術的方法を理解し、説明できる。</li> <li>・ 建築環境設計に関わる演習を行うことにより応用能力を養い、環境工学的視点からの計画ができる。</li> <li>・ 建築技術者として、環境問題に対してどのように関わるべきかを理解し、説明できる。</li> </ul>						
日程と内容	4/8 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 4/15 伝熱（熱の伝わり方、断熱、断熱と熱容量） 4/22 室内環境の快適性（室内環境の構成要素、温度感覚、温度指標、快適範囲） 4/30 日照・日影 1（太陽位置、日照率、日影曲線、日影と建物の配置） 5/6 日照・日影 2（日影曲線、日影と建物の配置） 5/13 採光（屋光、採光設計、窓の位置と形） 5/20 照明（照明の基本計画、所要照度） 5/27 結露 1（結露現象、壁体各部の温度、表面結露防止） 6/3 結露 2（内部結露防止） 6/10 【補講】空気汚染（空気質、シックハウス対策） 6/17 音響（残響時間と明瞭度、音響計画上の悪条件とその対策） 6/24 室内音響計画（残響時間） 7/1 レポート課題（環境に配慮した大学の事例をあげ、近畿大学福岡キャンパスがエコキャンパスになるための提案） 7/8 定期試験に向けた総合演習（60分）と解説（30分） 7/15 定期試験（60分） 7/22 定期試験解説						
成績評価基準	定期試験	60%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	20%					
	演習	20%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築室内環境に関する基本的知識を理解し、説明できる。：達成した</li> <li>・ 建築室内環境の快適性を図るための技術的方法を理解し、説明できる。：達成した</li> <li>・ 建築環境設計に関わる演習を行うことにより応用能力を養い、環境工学的視点からの計画ができる。：達成した</li> <li>・ 建築技術者として、環境問題に対してどのように関わるべきかを理解し、説明できる。：達成した</li> </ul>						
反省点	座席を指定して講義を行ったことは、私語防止に役立った。 講義用の配布プリントを、UNIVERSAL PASSPORTより学生個人がダウンロードできるようにすることは、継続していきたい。 まじめに演習に取り組む学生が多かった。						
来年度の計画	建築士試験に対応した内容についての講義を継続していく。						
授業評価アンケートに対するコメント	毎回、重要事項の穴埋め形式の資料を配付し、授業の後半30分程度で理解度確認のための小テストを実施した。 講義用の配布プリントを、UNIVERSAL PASSPORTより学生個人がダウンロードできるようにしてる。事前学習（自学自習）の目的であるが、学生の自学自習の時間に充てられていなかったのが残念である。 評価はどの項目も学部平均を超え、総合点は8.6点だった。						
履修登録者数	80名	定期試験受験者数	77名	合格者数	76名	合格率	99%